

2023年10月3日
宮崎県東諸郡綾町
公益財団法人イオン環境財団

10月7日(土)「綾町イオンの森」育樹活動を実施

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役代表執行役会長 以下当財団)と宮崎県東諸郡綾町(町長 松本俊二)は、10月7日(土)、森林再生、生物多様性保全と利活用を含めた、多様な価値を創出する里山を目指し「綾町イオンの森」の育樹活動を実施します。

日本最大規模の照葉樹林が広がる宮崎県綾町は、2012年ユネスコエコパークに登録されました。当財団は、2013年から3年間、綾中学校の校舎建替えのため伐採された町有林跡地を本来の里山に還元するため「綾町イオンの森」として植樹を実施しました。2017年からは、日本ユネスコエコパークネットワークと連携協定を締結し、人と自然の共生を目指すユネスコのグローバル基準に基づいた森づくりを再スタートさせ、昨年は、ソメイヨシノやカツラ等1,000本の植樹を行い、累計約2万本の植樹を実施してきました。あわせて、綾町イオンの森のヤマモモの葉を利用した、草木染めのワークショップを実施し、里山の自然の魅力や、綾町の伝統文化を体感する活動を行いました。

今年は、地域のみなさまと共に、成長してきた樹木の育樹として枝打ちを、実施いたします。また里山の利活用に関する講演会、地域の伝統工芸のワークショップを実施する予定です。

綾町と当財団は、次代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐため、今後も連携し、里山づくりをはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時	2023年10月7日(土) 10:00~14:00		
場 所	綾町尾立展望台周辺町有林 綾町大字南俣2027番地1		
内 容	枝打ち		
参加者	120名		
主 催	綾町・公益財団法人イオン環境財団		
協 力	宮崎中央森林組合・イオン九州株式会社		
出席者	綾町	町長	松本 俊二 様
(予定)	綾町議会	議長	松浦 光宏 様
	宮崎中央森林組合	代表理事組合長	壹岐 富美雄 様
	イオン九州株式会社	代表取締役社長	柴田 祐司
	公益財団法人イオン環境財団	専務理事	山本 百合子

【2022年の植樹・ワークショップの様子】



以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに、万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、中国万里の長城などアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,255万本をこえています。今年度、当財団は、北海道南富良野町、宮城県石巻市・亶理町、千葉県君津市・、埼玉県狭山市、島根県松江市、海外ではインドネシアジャカルタ、マレーシアビドー等で植樹を行う予定です。

【綾町とイオン環境財団の取り組み】

「綾町イオンの森」では「植える」活動に加え、「育てる」「活かす」活動にも取り組んでおり、環境教育も実施しています。2020年12月、綾町立綾中学校、一般財団法人リモート・センシング技術センターとの連携で炭素蓄積量の調査を実施しました。綾中学校の生徒が、植樹から10年を経た木々の実測を行い、地球温暖化防止策として有効とされるCO₂削減に、森がどのように貢献しているかを調査しました。

また、2022年には、250名のボランティアのみなさまと共に1,000本のソメイヨシノの植樹を実施しました。その他にも、「綾町イオンの森」エリアマップを作成し、地域内外の皆さまに「綾町イオンの森」とその周辺を楽しむ2時間の散策コースを提案しています。更に、イオンモール宮崎において、タッチパネルを使用し昆虫等の生息箇所などを示した「綾町イオンの森」紹介コーナーを常設しています。

【イオン九州からの寄附】

イオン九州が環境月間で実施した「環境特別WAONボーナスポイント」の取り組みは、期間中に対象の環境配慮型商品をお買い上げいただくとお客さまに付与されるWAONボーナスポイントと同額がイオン環境財団へ寄付され、森の再生のための植樹苗木代など環境保全活動に役立てられます。

